

2014年8月5日

名古屋市長 河村たかし様  
緑政土木局長 黒川 和博様

相生山でE S D実行委員会  
代表 高岡立明  
天白区天白町野並相生 28-208  
電話：052-895-5004

### ご報告「シンポジウム相生山」

7月20日、この日、こどもたちは相生山の自然を全身で受け止め、目を輝かせて森の中から帰ってきました。豊かな自然が残る相生山緑地は名古屋の宝物です。

こどもたちと見守った大人たちで「相生山で見つけたわたしの宝もの」を作りました。相生山のシンボル「ヒメボタル」を舞わせました。

おかあさんといっしょの2歳の幼児から80歳代の年配者まで、94人の参加者は、自然観察・竹やぶ整備体験・「ヒメボタルかるたであ・そ・ぼ!」・飛ばそう!竹とんぼ、の各企画を楽しみました。

第2部では相生小学校の教室で、5月24日の「相生山で宝さがし」陸貝調査の結果報告を川瀬基弘先生(愛知みずほ大学)から、緑地の未来「ヒメボタルの里構想」提言を実行委員会の高岡立明が発表し、いずれも参加者から好評でした。

カタツムリの新知識に感嘆・歓声があがり、人と自然の共生を午後まで熱心に語り合ったことです。

前述の「相生山で見つけたわたしの宝もの」に、企画紹介、2つの報告資料、並びに参加者からのアンケート回答全文まとめを添えて、わたしたちの名古屋を環境都市として守り発展させるため、ご尽力くださっている市長・緑政土木局長のもとに届けます。

どうぞ、相生山近隣の天白・緑のこどもたちや周辺の瑞穂・南区民、さらに北名古屋や尾張旭などの市外からも、相生山緑地を愛する人びとの思いを受け止めていただき、今後の行政施策に生かしていただきますようお願いいたします。

また、本企画は名古屋市後援の「第26回愛知サマーセミナー」の総合学習フィールドワーク講座として企画され、この成功は関係各位のご協力、お心づかいなくしては得られぬものでした。末尾ながら、心より感謝の意を申し上げます。

以上